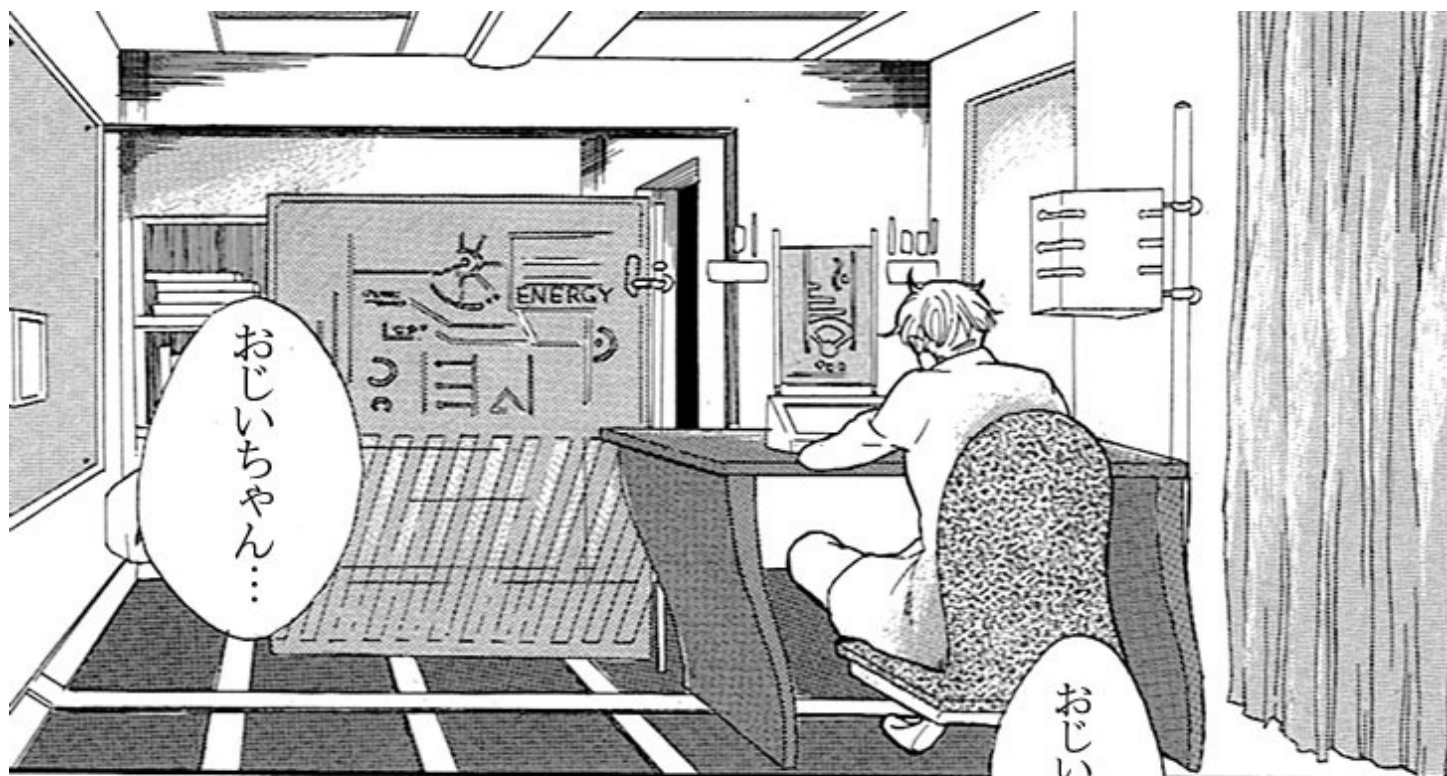


永不滅亡



7912 7982379867534897983472 987987 31298 7928317987 928173987543987923179 987291384759  
93847923847984 7985793847923874948537972398 543 79834579387498723987239873 9870872398  
85 340985029384092830948029385043985 039485 09840239840980984 098884029384 098 09823049  
1987 06 25 789237918379 7 7931872 798713213189 37198  
38749 87923 847198546 98723409879348579873429 79 914237498 98723498 7293847987923479879  
23479 87928374 987243 9 92438479875288479234745987593848834579384798 78798 432 98749 23  
98423049 098 8092387 898098 79349 098827098 0 9384098 8793  
74 98023948 0239188754 098034987 0983912 098 098 098 43 09841  
9387 87234 8709822 098034987 0983912 098 098 098 43 09841  
75 7098238 0982384098 09823084780 0974230 073274 098  
310983128 0982384098 09823084780 0974230 073274 098  
22812736 0982384098 09823084780 0974230 073274 098





おじいちゃん

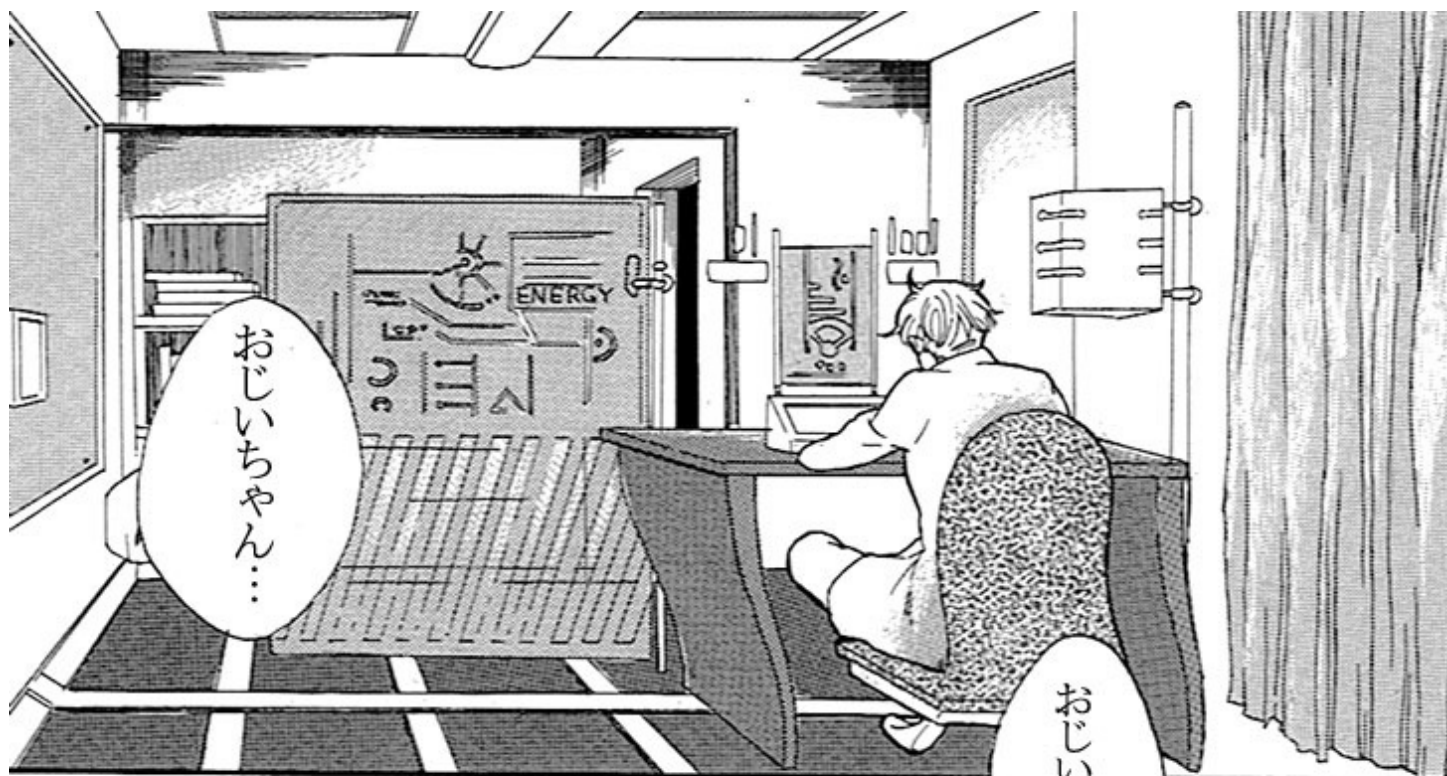
お仕事終わった？

おお

来てっらん

遂にできたぞ

言語力変換  
装置じゃ





これはな 眼球運動  
から思考を読み取り



その際発生する  
エネルギーを...



人はな想いを  
乗せて言葉を  
発する時

凄いエネルギーを  
作り出す

好きです



わからんわな!

4歳で理解できた  
はずなのに...  
わからない

?



遊：お前  
好きな子はあるか

ガッガッ

...?  
そうか

いつかお前にも  
わかる時が来る

それが

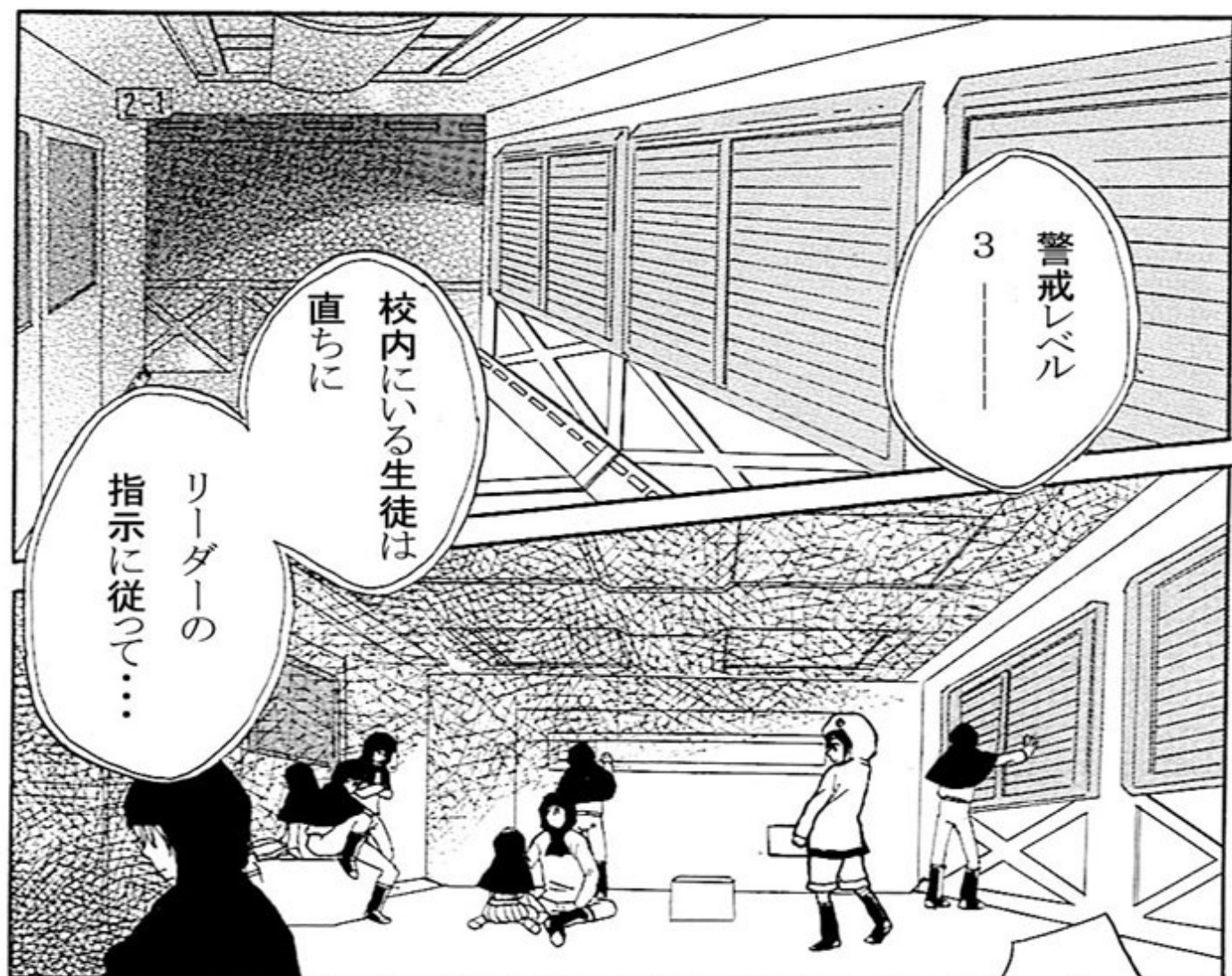
# 永久不滅モーター

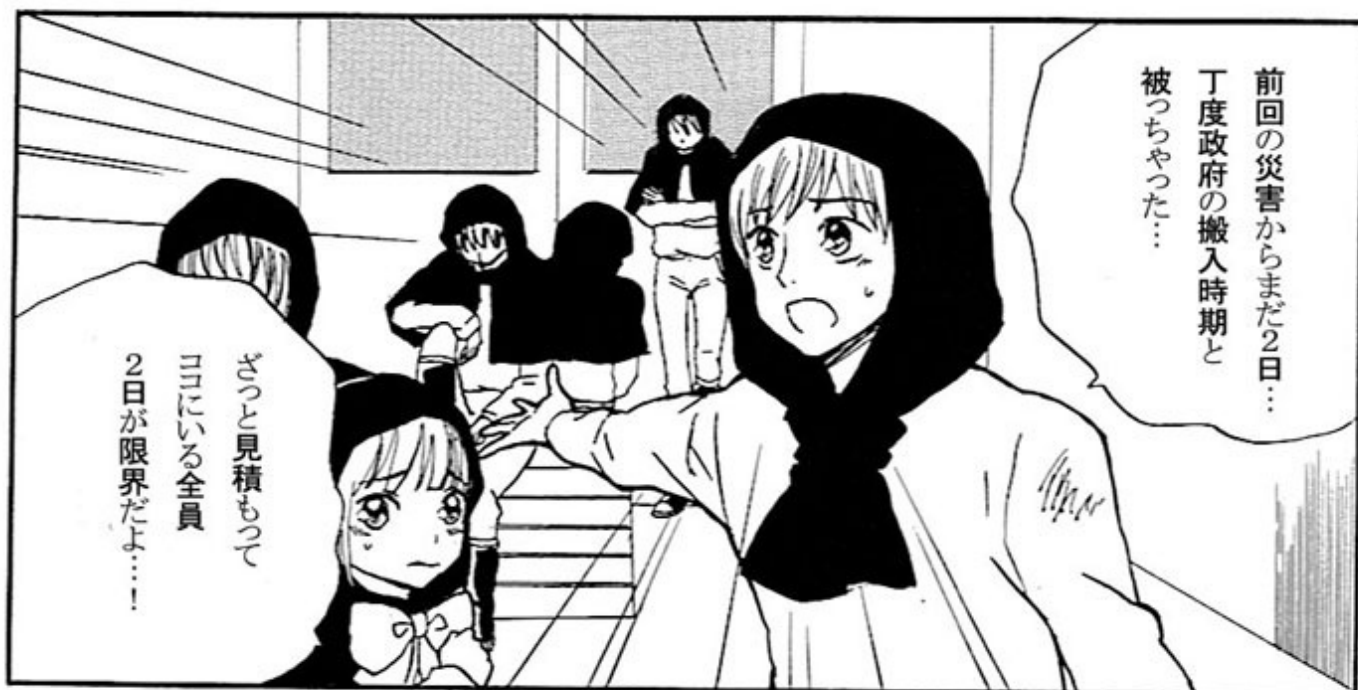
それが

全ての原動力だ











どうしよう……

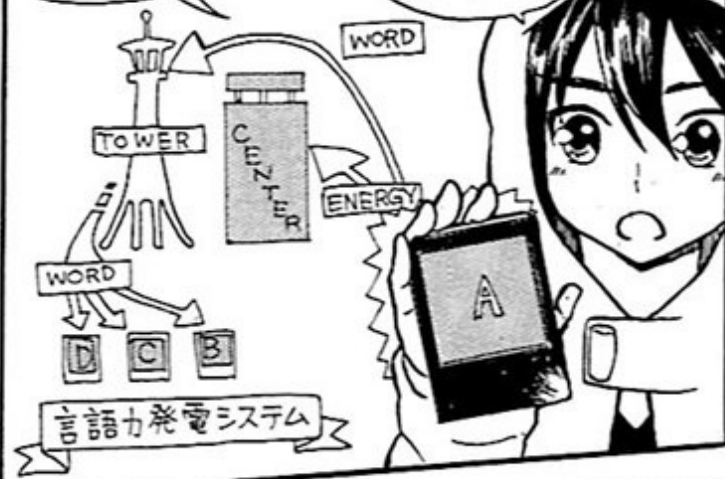
このまま  
ココに閉じ込め  
られてたら……!

ギ  
ャ?

大丈夫

携帯からの  
“想い”<sup>エネルギー</sup>をセンターが  
受信し続ける限り

僕たちの存在は  
センターの人間が  
気付くはずだ



携帯の消費電力は  
最小限に!

会話モードから  
“文字通話”<sup>メール</sup>モードに!

何よ今更!

! ?











また屋上で  
暇潰し?

あ!  
遊!

放課後



あとの二人と私は  
問題アリなんだから!

飛び級アインド  
学年首位の遊は  
問題ないかも  
しれないけど

どうでもいいけど  
どうしてそんなに  
エラそうなの



フッ  
フッ  
ブーン

洋ちゃんや晃くんも  
一緒にでしょ?  
てかトークモード  
にしなさいよ!



じゃあ私はガツコの  
図書館行くから!

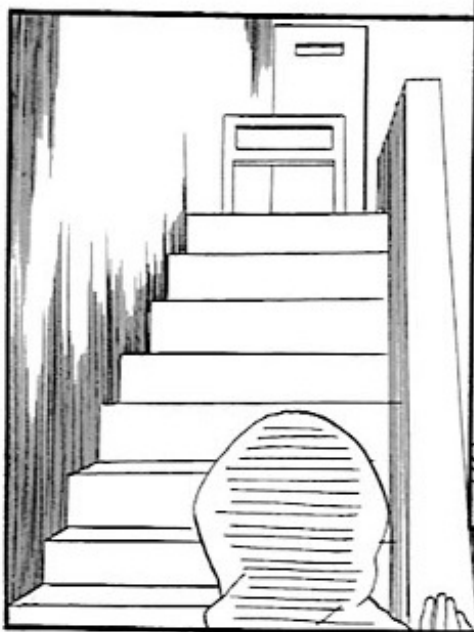
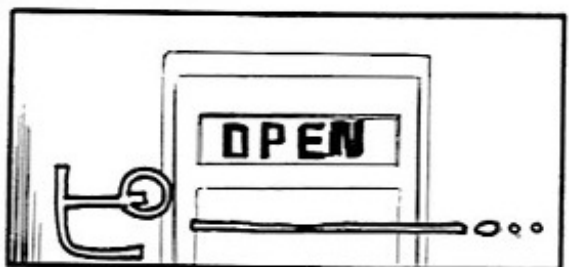
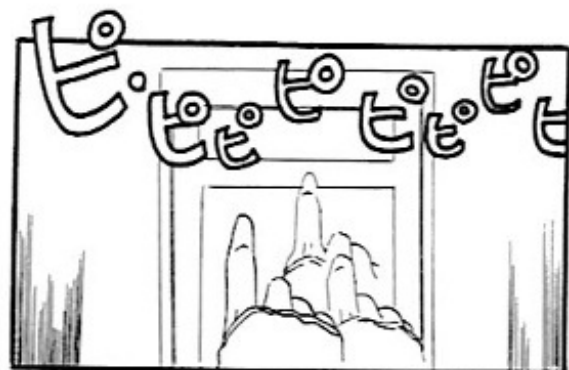


忘れないでね!

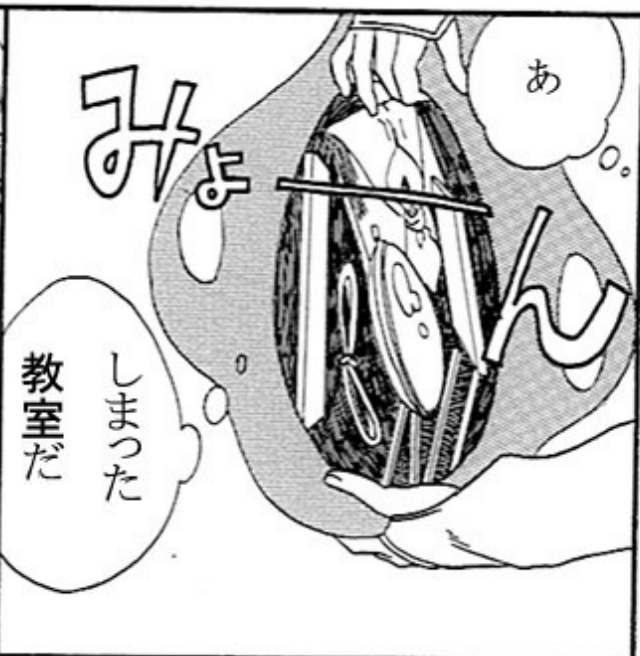
週末は皆で  
勉強会!

なでっ

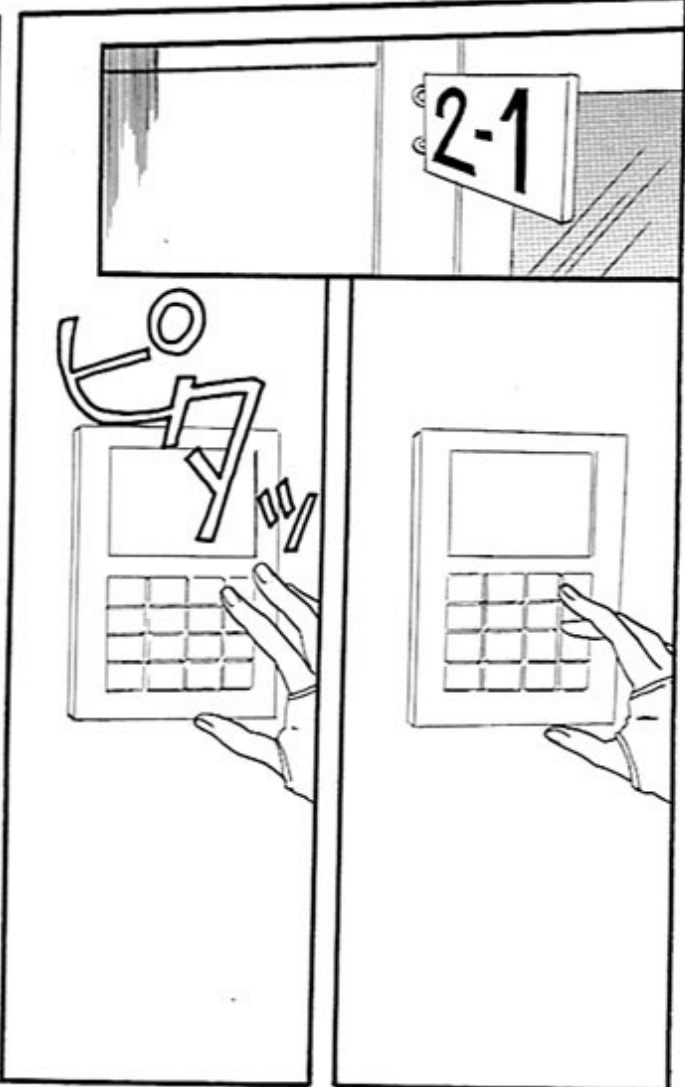
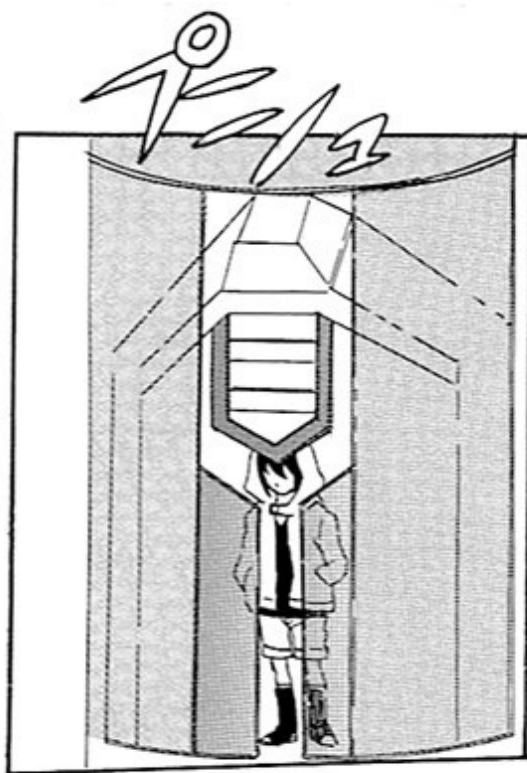
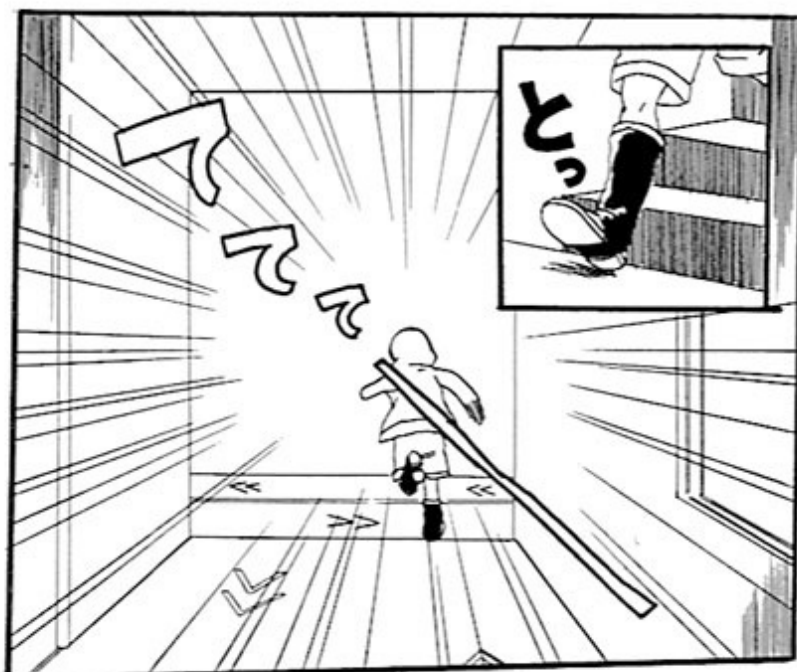


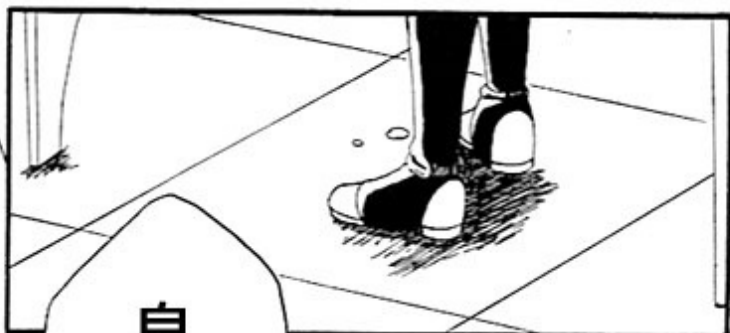














来週は全国  
模試だぞ



いくら成績優秀者  
だからと言って  
おごってはいけません...







最近カップルが  
別れたって噂  
よく聞かない？

まあ…  
そうかもな

でも付き合う  
人たちがいれば  
別れる人たちも  
いるでしょ？

いや  
おかしいんだ

絶対おかしい！

調べよ

う！

説明に  
なっていない！

だからその  
何がおかしい  
んだ

んっにお前は  
一人で納得しねえで  
根拠を述べろって  
いつも言ってるだろ

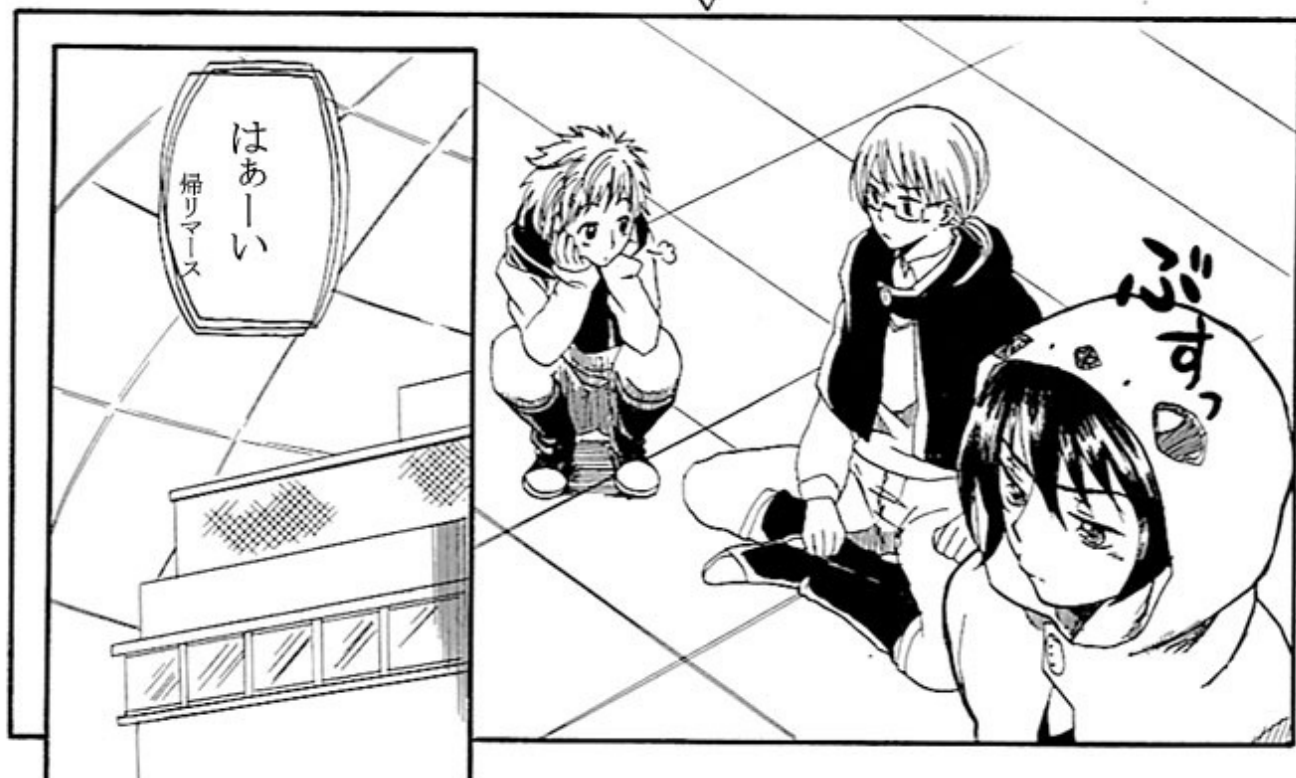
遊の思考に  
一般人がついて  
いけないと思う

なッ











確かに…

それにしても  
この店やけに  
「音声」が多いな



「メール」の方が  
消費電力を抑え  
られるから 政府に  
推奨されてるけど

音声-力言語  
=蓄積されるエネルギー

人が集まる場で  
生まれる噂ってのは  
口から口に流れてく  
ものだからね



そうして尾ヒレが  
ついて  
終いには人の手に  
負えなくなる



メールだと  
データが残る  
しね

噂ってのは  
残しちゃいけない  
んだよ

…って昔  
姉さんが言ってた



確認したい  
ことがある

今日零時  
必要だ！  
二人の力が  
に校門の前

オッケー



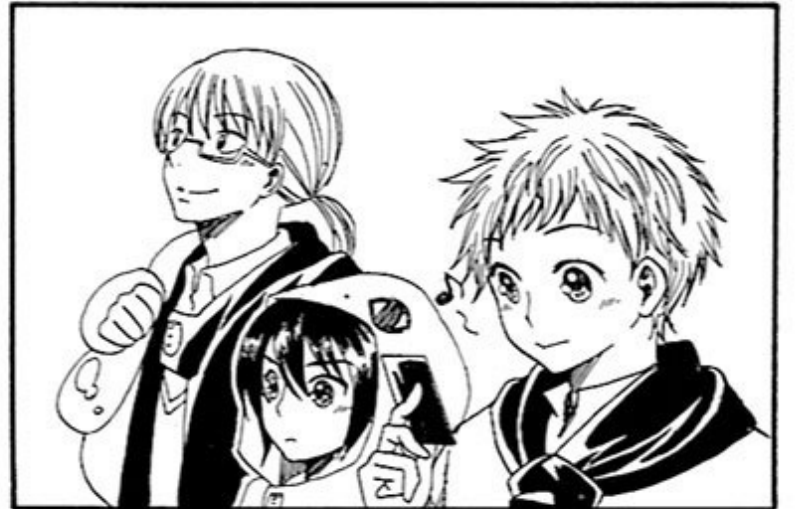
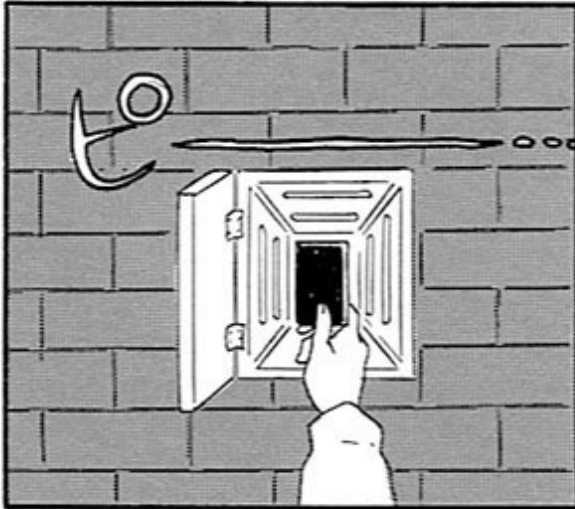
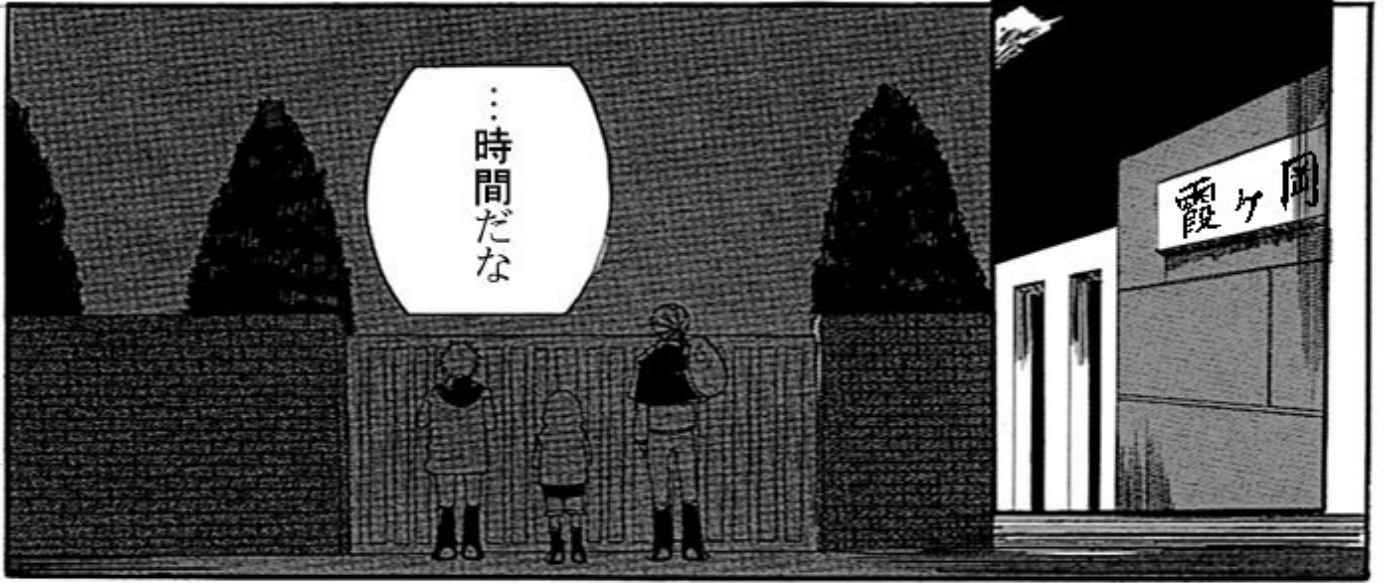
腹ごしらえ  
してるって  
ことは

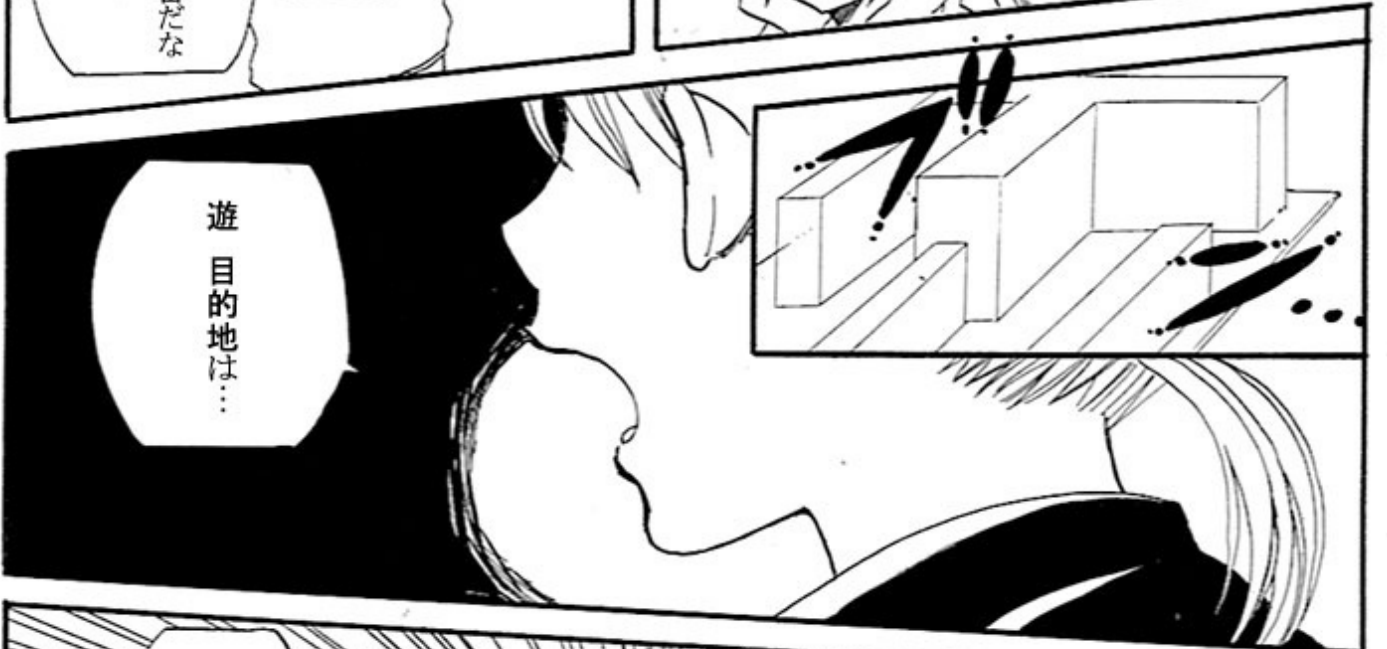
で  
どうするの  
小鳥くん

何かする気  
なんでしょ？



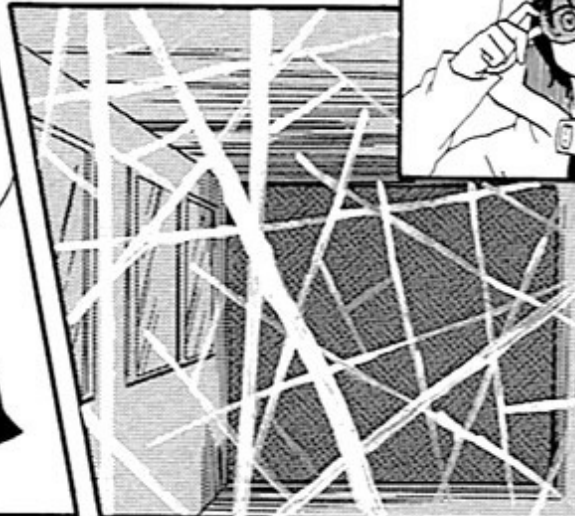








なんか…  
セキユリテイー  
強化されてない？



新開発だつて  
兄貴が言つてた  
まア俺もちよこーつと  
手伝つただけだ



今解除すつから  
ちよつと待つてな

ねえそう言えば  
教頭先生独身  
だつて知つてた？



ああ…あの人は昔つから  
あんな感じらしいね

慣れ合い不要が  
信条みたいな人だ

奥さんとか  
要らないんじゃない



そうねー





ん？なんだ？  
PCルームに  
明かりが…



学校に蓄積されてる  
生徒たちのデータほくを  
調べるつもりだった  
んだけど…



やっほい…

え？



えー



しっ



な

俺たちの  
データ！？

まったく…

恋愛なんぞに  
現をぬかしおって…

何をしてるんだ？  
教頭のヤツ…

しまった！  
メールのバイブだ！

なんだ！  
誰かいるのか！

やべっ…





先生こそ  
こんな時間に  
こんな所で

のほほん

なにしてたん  
ですかあ？

わ  
私は君たち  
生徒の

情報管理を  
だな…

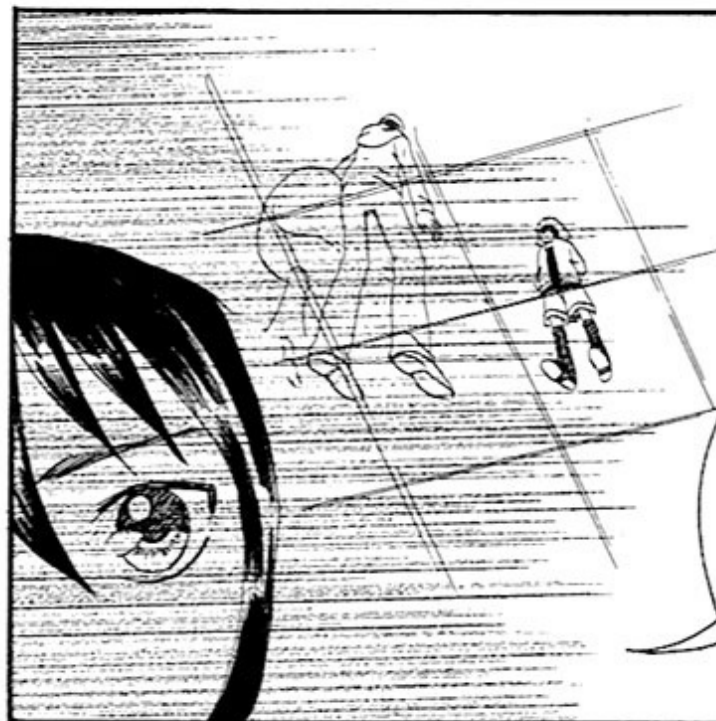
ははっ

この学校に

管理するだけの  
生徒の情報なんて  
ありませんよ

なぜなら  
それは

トプシークレット  
国家機密



記録的な大災害から  
恐るべき発展を遂げた  
日本には

その功労者の親族  
のみを集めた学校が  
内密に存在する

表向きはただの進学校だが  
その実彼らの情報は  
嚴重に保護され  
その存在は国によって  
守られていた

彼らには 例えば  
国際組織に狙われる  
だけの理由がある  
からである

まア やとわられてるひと別に先生たちが  
そんなこと知らないのは  
当たり前なんだけどさ

唯一学校が持つ  
僕たちの情報が  
あるんだ

それが……

学校支給の  
携帯のID



携帯普及率  
100%の時代で  
僕たちもまた  
その学校に所属  
する証に携帯を  
持たされてる



言語力による  
エネルギー供給は  
国民の義務だ

…小鳥くん  
と言ったか

一体君は  
何が言いた  
んだ

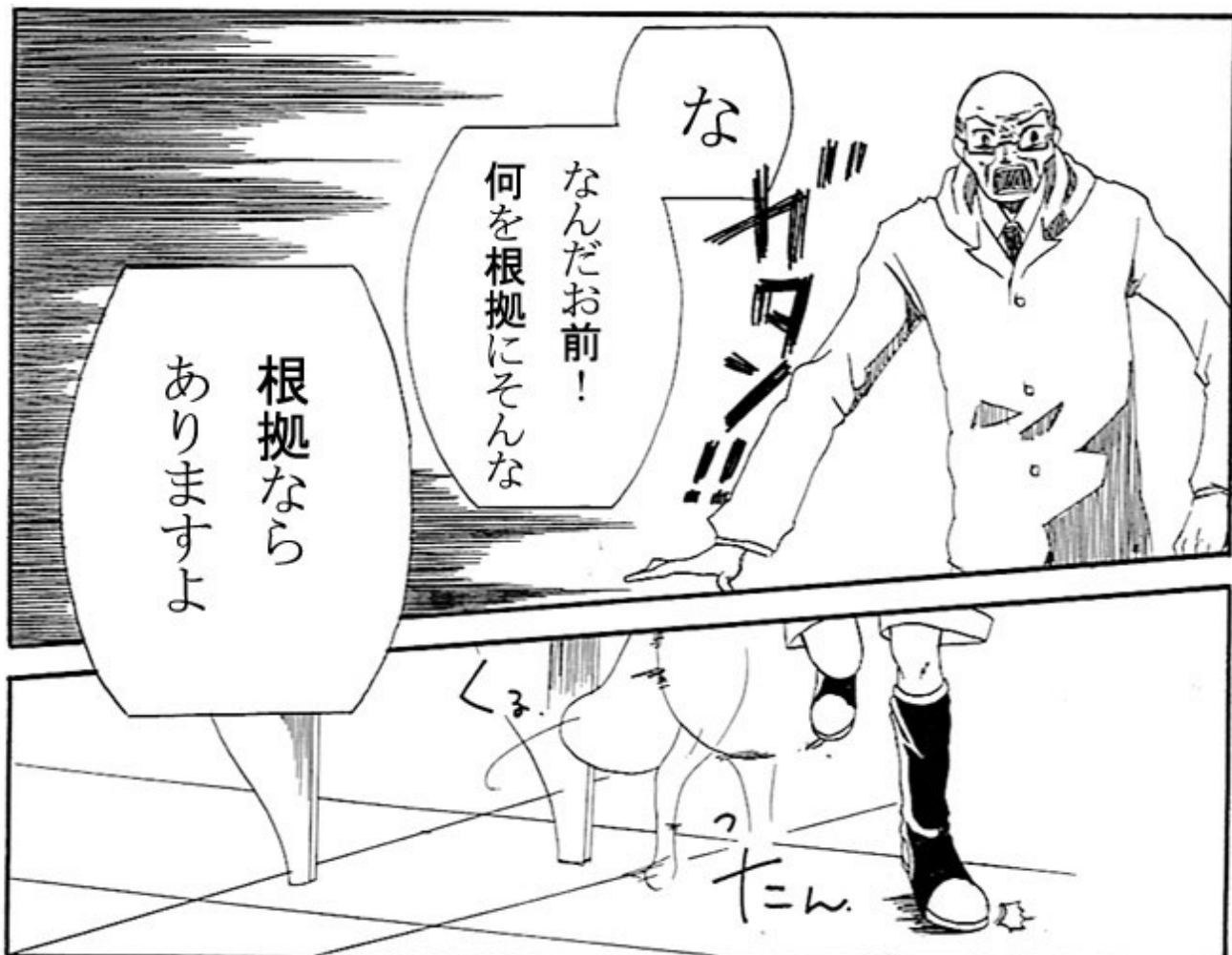
わからない？  
なら教えて  
あげますよ



生徒のIDの  
不正使用







それが  
なんだと……!

あなたの目的は  
ただひとつ

“カップルの破局”

まず洋介のIDを使って  
泉に別れを告げる旨の  
メールを送り……



次に同じ様に  
泉のIDを  
使って 僕に  
メールを送る

恐らく僕たちの  
仲違いを目論見

晃や洋介にも  
似たような手で  
疑念を植え付け  
ようとしたんだろう

もちろん  
他の生徒にも

イイ趣味  
してるよ

生徒たちの人間関係  
……まで調べ上げてさ

さぞ大変だった  
でしょう?





…つははア

大変？そんな  
苦労など厭わない！  
私は教師！君たちの  
為だ！

今この時はもう  
二度と戻っては  
こない！

そんな時に恋だの  
友情だのにかまけて  
勉強に身が入らず

ただ墮落してゆく  
だけの君たちを！

私は救ってやろうと  
しているだけさ！



恋も！友情も！

全て投げ打ちひたすら

勉強に励んできたのに！

私は未だ満たされない！

それならば尚更！

そんなものにかまけてる

お前たちが

うまくいくわけ

ないだ





ろ

ズバズバ

僕のじいちゃんが

よく言ってたよ





愛は万事の  
原動力だ！



誰かを  
大切に想う  
気持ちに

無駄なもの  
なんて  
あるもんか



その髪は…  
「タカナシ」の  
遺伝…子…

あーあ



心配すんな

俺がコイツの回路  
いじつといてやるよ



なんて  
悪い顔…



どうするの  
小鳥くん

教頭に  
バレちゃったよ

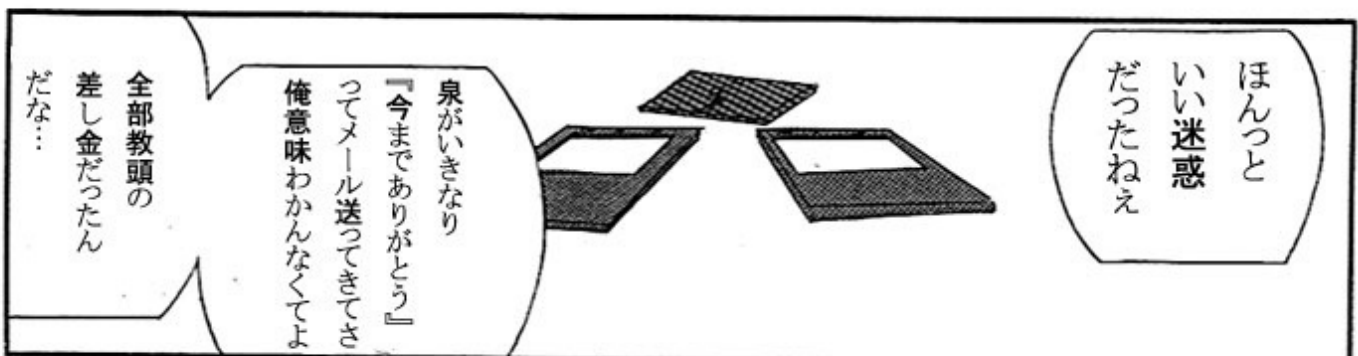
ばか

カッと  
しちやた



もう朝か…

しっかし教頭も  
よくあんなまどろっこしい  
こと考えたよなー



ほんつと  
いい迷惑  
だったねえ

泉がいきなり  
『今までありがとう』  
ってメール送ってきてさ  
俺意味わかんなくてよ

全部教頭の  
差し金だったん  
だな…



あ

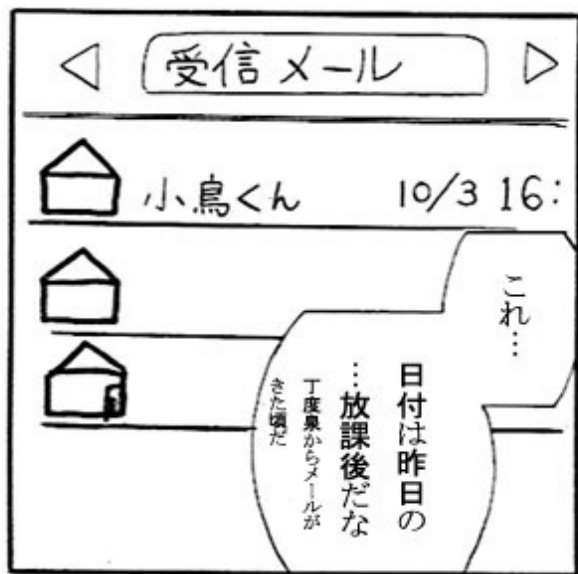
そう言えば  
僕にも変なの  
きてたんだ

差し出し人は  
小鳥くんに  
なつてたけど

なんて？

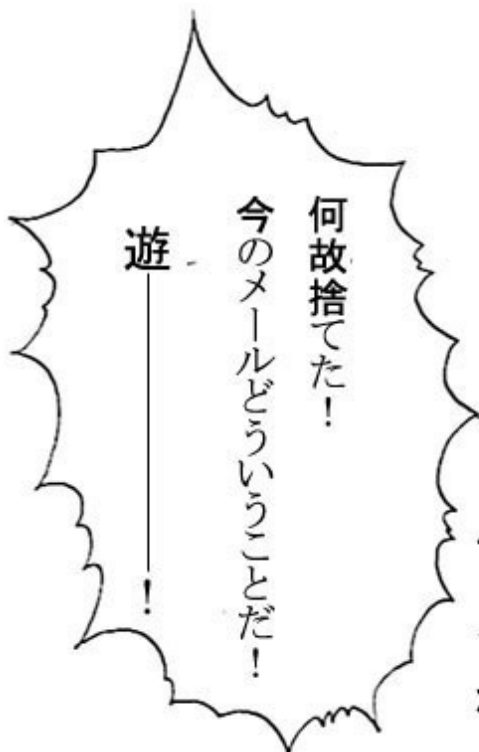
か  
は





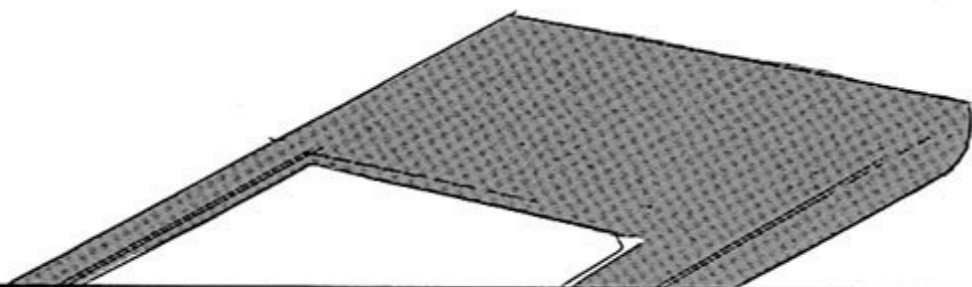
TAKANASHI——世界の携帯の全てに、この会社名が刻印されている。しかし、メーカーと言えど実体がないのがこの企業の特徴だ。

言語の持つ力、いわゆる“言語力”をいち早くエネルギーに変換させることに成功した、一人の技術者がいた。しかし彼は、それを独自開発しておきながら、その変換技術を全世界に即刻開示したのである。



開発者が提示した条件は唯ひとつ。  
“ブランド名を、<sup>タカナシ</sup>小鳥遊とすること”  
それに敬意を表して、全携帯メーカーが以後、TAKANASHIの名を使う様になった。

開発者の遺伝子は 今尚生き続けているはずだが  
その真偽を知る者は 少ない。



## 永久不滅モーター

<http://p.booklog.jp/book/79865>

あとがき：[http://randomwalk.yangotonaki.com/mangaseisakudp\\_m\\_rin\\_atogaki.html](http://randomwalk.yangotonaki.com/mangaseisakudp_m_rin_atogaki.html)

著者：Random Walk

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/random-walk/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/79865>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/79865>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社ブックログ